

～野外活動～

# 砂の造形

福岡市海の中道青少年海の家  
2022年12月7日改訂



## 1.活動概要

北海岸で、砂や貝殻などを使って、大きな作品を作り上げます。

## 2.めあて

【自然に学ぶ】

○(本物に触れる)

・砂や海水に触れることで、海に親しむ。

○(自然の中で遊ぶ)

・砂浜の楽しさを感じる。

【人とのつながり】

○(仲間・協力)

・班で1つのものを作り上げるという活動を通して、協力する態度を身につける。

【自分を高める】

○(感性・創造力)

・漂着物や貝殻・海草などを工夫して使うことで創造力を高める。

## 3.準備

【1】準備物

**海の家** : バケツ、スコップ、十能、ひしゃく、ウェーダー、長靴

**団体** :

救急用品、帽子(あごひも付きが望ましい)、水とう、タオル

※班の数が多い場合は、バケツやスコップを学校・団体でも準備する。

【2】引率者の役割

○ 北海岸での安全管理

○ 海水汲み

○ 道具などの管理

○ 制作・片付けの指導

【3】班編成

6～8人程度

## 4.実施上の留意点

○ 北海岸入口は施錠しているため、引率者が施設職員の許可を得て入場する。

※北海岸入場可能時間(9:00～17:00)

○ 北海岸の海は、立入及び遊泳禁止のため、引率者が責任をもって研修生の安全管理をする。

※北海岸での諸注意

① 海に入らない。

② 裸足にならない(サンダル不可)。

③ 危険な漂着物や生き物には触らない(液体の入った容器・注射針・ヒョウモンダコなど)。

④ 砂を投げたり、蹴ったりしない。

○ 海水を汲む際は、引率者がひしゃくを使用して行う(研修生はできない)。

○ 潮の満ち引きを考慮して作品を作る場所を決める。

※実施当日の『津屋崎』の干潮・満潮時刻を調べておく。

○ 特に夏季は、北海岸での熱中症に注意する。

○ 活動終了後、制作で使った漂着物は片付ける。

○ 北海岸での活動終了後は、衣服や靴についた砂をよく落とし、館内に持ち込まないようにする。

○ 事前に、班で何を制作するのか決めておくと、スムーズに活動ができる。

5.活動のながれ

◎…引率者の動き ○…研修生の動き ▼…施設職員の動き

| 目安時間                 | 活動内容  | 留意点  |
|----------------------|---|--|
| 全体説明<br>(5分)         | ▼活動の説明と北海岸での諸注意をする。<br>○話を聞く。   | ※『津屋崎』の干潮・満潮の時刻を調べ、制作場所を決めておく。<br>※制作終了時刻を決めておく。   |
| 道具の配付<br>(30分)       | ▼道具を配付する。<br>○道具を受け取る。  | ●物品の個数を確認する。   |
| 制作<br>(65分～<br>125分) | ▼北海岸へ引率し、見守りをする。<br>○北海岸へ移動する。<br>◎制作場所・活動範囲・集合時刻・集合場所を伝える。<br>○話を聞く。<br>◎海水を汲み、制作の補助をする。<br>○作品を作る。<br>◎安全管理をする。 | ●絶対に海に入らないように注意する。<br>●危険な漂着物や生き物には触らせない<br>(液体の入った容器・注射針・ヒョウモンダコなど)。<br>●砂を投げたり、蹴ったりさせない。<br><br>●海水は、引率者が汲む。 |
| まとめ<br>(5分)          | ◎まとめを行う。<br>○話を聞く。  | ●作品を互いに見せ合う。   |
| 片付け<br>(5分)          | ▼砂落としについて説明する。<br>○砂落としをする。   | ●北海岸入口の芝生の上で、衣服や靴についた砂を落とさせる。  |
| 道具の回収<br>(10分)       | ▼施設の貸出物品を回収する。<br>○道具を水洗いし、返却する。  | ●物品の個数と、綺麗に洗えているかを確認する。  |



- a. 対象学年 : 小学生以上 ※未就学児は要相談
- b. 定員 : なし
- c. 関連教科 : 理科、図画工作科、美術科
- d. 実施可能時期 : 通年
- e. 実施可能な天候 : 荒天時以外
- f. 所要時間 : 2時間～3時間程度 ※調整可能
- g. 実施場所 : 北海岸

